

特 秘 然

内務省
大 廣 兵 社 務 大

ク 〇 シ 〇 〇 〇 〇 〇

勞働階級ノ勝敗ナル事ヲ思ヒ如何ナル障害ニ又
打勝テテ最後ノ一人迄又戦ハレン事ヲ切望フル次
第ヲアリマス

大正十三年五月二十二日

西部支那 勞働同盟

瓦斯会社争議団 申中

以 上

再の市民請君

吾等の豫想に違はず「會社は出来るだけの讓歩したが職工が聞かなかつた」と宣傳して居る
だが如何に柔順しい吾々だつてあんな嘘ばかりの言分には承知出来ぬ、例へば一日給一圓五拾
錢に手當六十五錢」と云ふが、誰がそんな日給を貰つてゐるか、職工の實狀を知らぬにも程が
ある、職工の大多数は日給一圓〇五錢に手當六十五錢總收入一圓七拾錢」しか貰つて居ないの
だ、然かも五年十年の勤続者がそれだ、これを二割上げても漸やく二圓〇四錢にしかならぬ、
之れでも神戸京都の瓦斯會社の初任給二圓二拾錢に比較するとまだ安い
然かも今迄吾々は十二時間宛働いて居た、之れを電燈の八時間に比し四時間、一般工業の十
時間に比較すると三時間宛餘分に働いてゐる。會社に云はせると、この時間短縮の結果四十三
錢宛支出が増すと、之れは結局其れだけ他の事業に比較して餘分に、酷に吾々従業員を虐使し
不當な利を絞り取つて居たことを言明して居る様なものぢやないか、唯恥知らず奴!!!

其 〇 〇 〇 〇 〇 〇